



新しい年を迎えて

「雲外蒼天」を胸に

明けましておめでとうございます。市民の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

元旦を、ご家族揃ってお迎えの皆様、あるいはお子様方の帰省を控えてもらうなどして少人数でお迎えになった皆様等々、いずれにせよ今年のお正月はいつもとは異なる「静かなお正月」となったのではと存じます。

ちょうど一年前の二〇二〇年一月、世界保健機構により中国武漢市で発生した原因不明の肺炎を「新型コロナウイルス感染症」と報告されて以降、ウィルスは世界各地にまん延しました。昨年四月に国から発出された「緊急事態宣言」では、市民の皆様に出自粛や休業要請等をお願いすることとなり、その後事態が好転するも、感染症流行期の冬季には「第三波」とも言うべき感染急拡大の状況となっております。

郡上市においても、市民の皆様の生命・健康・生活を守るため様々な対策に努めてまいりましたが、コロナ社会を生き抜くための取り組みは数年に渡り続くとも言われています。こういった状況において、市民の皆様には徹底した感染予防対策はもとより、地域の活性化やそれぞれの活動の継続等に向け、知恵を絞り工夫を重ねたお取り組みをしていただいております、心から感謝

申し上げます。未知のウィルスにより、私たちの生活は一変し、これまでに体験したことのない困難な事態に遭遇していますが、郡上市には、不撓不屈の精神と感謝や思いやりの心で実直な生き方を尊重する伝統が息づいています。市民の皆様への感染予防に向けた、我慢強く真摯なお取り組みは、こういった精神によるところが大きいと感じる次第です。一方で、コロナの脅威は身近に潜んでおり、誰でも感染する可能性があります。感謝と思いやりの心をもって「コロナ・ハラスメント・ゼロ」に向け、市丸となって取組んでまいりたいと存じます。

今年は、延期となっております「東京二〇二〇オリンピック・パラリンピック」や「第三十三回全国健康福祉祭ぎふ大会（ねんりんピック岐阜二〇二一）」などが開催予定であり、昨年はできなかった「郡上おどり」や「白鳥おどり」なども、今年こそは実施できることを祈っております。「この感染症は必ず収束する時が来る！」そうした希望を持って、「雲外蒼天」という言葉を胸に頑張りました。

新しい年が皆様にとって佳い年となりますよう祈念し、新年のご挨拶といたします。

郡上市長 日置敏明

【雲外蒼天】「雲を突き抜けたその先には青空が広がっている」（困難を乗り越え、努力して克服すれば、素晴らしい世界が待っている）の意



新年のご挨拶

マスクを外せる笑顔の年に!!

新年、あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、日頃より郡上市の発展と議会活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

2020年は世界中がコロナウイルス感染拡大により、甚大な被害を受けた年となりました。本市におきましても、影響を受けられました皆様、各企業の方々には、お見舞いを申し上げます。

また、最前線で御尽力いただいております医療関係・介護関係の皆様、そして、感染拡大防止に努めていただいております全ての皆様に、深く感謝申し上げる次第であります。

さて、昨今、本市財政は、合併以降、徐々に健全化を成しとげつつありますが、避けられない少子高齢化と人口減少社会を迎え、歳入も減少の一途にある中、さまざまな分野への支出の増加、そして、コロナウイルスへの対応等も重なり、財政的には厳しい状況にあります。

そこで、今年は、「コロナの終息と経済の立て直し」

に全力をそそぎ、防災・減災はもとより、雇用の確保のための更なる産業振興を進め、明るく住みよい地域づくりを目指し、市民の皆様と一丸となって取り組みたいと考えております。

さらには、郡上おどり・白鳥おどりをはじめ、多くのイベントや社会活動が延期・中止・自粛ムードとなり、近年にはない街の静けさ・活気のなさ・そして、寂しさを感じます。しかし、この経験をバネに郡上人にやどる「凌霜の精神」(なにくそ・おかげさま)と、本市が誇る優れた文化・歴史・自然環境・産業基盤をフルに活かし、このコロナ禍を乗り越え、道を開いたものと考えます。

あらためまして、迎える令和三年は、コロナに打ち勝って明るい良き年となりますよう、皆様と共に願ひ、努力いたしたいと存じます。

結びに、本年が市民の皆様にとって、ご健康で幸せな年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

郡上市議会議長

山川直保